

大海原のように

どこまでも広く、どこまでも深く、
まぶしく輝やく青のいろがり。

ふるきとの未来は、

この大海原のようであつてほしい。

どうやら新しい時代の到来に、

水も光も大気もきちんと襟を正して

身を引き締めている様子。

大自然に、明けましておめでとう。

ふるきとに、明けましておめでとう。

新春にあたって、仮谷知事に今後の県政について聞いてみました。



仮谷志良

知事

近未来のまちづくり

— 知事にとって県政五期目の最初の年ということで、多くの目標や課題、夢があると思います。二十一世紀にむけた豊かなふるさとづくりについてお話を伺います。

— 現在、和歌山マリーナシティの埋め立てが順調にすんでいますが、まずはビッグプロジェクトの現状と今後の計画についてお聞きします。

海上にリゾート地のシンボル

— 明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに胸をふくらませていてほしい。まずはすこやかなお正月を迎えたことお喜び申しあげます。

— 明けましておめでとうございます。新しい年を迎えて、県民の皆様も希望に胸をふくらませていてほしい。まずはすこやかなお正月を迎えたことお喜び申しあげます。

近畿自動車道、すさみ町へ

ともいべき一大リゾート都市を造ろうというのが「和歌山マリナシティ」の計画です。関西国際空港開港と同じ平成六年の完成をめざし現在工事を進めています。同時に夏には「世界リゾート博」をマリナシティで開催し、国際的なリゾート地としての和歌山県を世界にアピールします。また和歌山市加太地区からの新空港埋め立て用土地の搬出がこのたび完了しました。跡地を有効に利用した複合機能都市「コスモパーク加太」の具体的な計画を近く発表したいと考えているところです。

— 次に交通体系の整備について伺いますが、新空港開港により京阪神との連絡道路など交通網整備が急がれますね。

府県間道路の整備を進め、増加が期待される物流や観光などに対応できる路線にと考えています。また近畿自動車道等は来年春、大阪府松原市→和歌山県湯浅町間で全線開通します。さらに湯浅町→御坊市間は平成六年度末の供用をめざして整備を進めているところで、このたび、すさみ町までの路線計画調査も決定し順調に整備が進行中です。

— 一方、未来の重要な交通体系の要となる第二国土軸構想も、実現にむかって動き出しています。

— そうです。和歌山県を国土軸の上に位置付けようとする第二国土軸構想。国や関係府県での機運がたまるなか、架橋とトンネル両面での紀淡海峡ルートの検討、そして京奈和自動車道の用地測量などを進めています。構想の実現は、半島に位置する和歌山県にとって大きな夢ですね。

一回から続く

一 県民の皆さんにとって最も身近な県内の道づくりについて伺いたいのですが。和歌山県は森林面積が約八割を占める、いわば山の国です。スマートな物の輸送や不便ない生活のために、県土に縦横に広がる道路網がぜひとも必要です。

現在、山間部を走る県道、林道、農道の整備を各地で進めているところです。また国道42号や24号ではバイパスやトンネル整備によるスピードアップ化も進行中で、来年度中には国道42号田辺バイパスや日置川道路の一部国道24号の和歌山バイパスが開通します。

こうした道づくりは、土地の提供や家の移転など地元の皆さんとの協力なしには実現できません。何とぞご理解をお願い致します。

時代に対応できる産業を

今までの「受注依存型」を一歩踏み出した「企画提案型」産業への転換が大切だと考えています。受注生産のみにたよることなく消費者に自信をもつて新技術や新製品を提供できる地場産業です。今年新しくなる工業技術センターや和歌山リサーチラボを活用し、今後の経済に対応できる産業の育成を図っています。

また産業団地への企業誘致を引き続き行い、地場産業の活性につなげたいと考えています。一自然に恵まれた和歌山県にとって、農林水産業の振興も重要な課題ですね。

海と山、そして温暖な気候、

国長寿保健福祉プラン」を策定しました。二十一世紀までの老

誰もが安心して暮らせる社会を

一 次に県民の皆さん的生活に最も密着した話題、保健・医療について伺います。昨年、県立医科大学の移転整備構想もまとまり、県民医療の一層の充実が期待できますね。

和歌山市紀三井寺競馬場跡地に新しい医科大学と付属病院を整備し、県民の皆さんのがんセンターや看護短期大学などの新施設も検討中です。また、救急救命士の養成などいざといふときにすぐ対応し、県民の大切な命を守れる救急医療体制を確立せねばなりません。

二十一世紀には四人にひとりが高齢者という超高齢化社会が目前の現在、県内の老人福祉を今後どう進めていかれますか。

和歌山県の高齢化は全国を上回るスピードで進んでいます。こうした現実を直視して、お年寄りが地域の中で人生の経験や知識を活かし、若い世代とふれあいながらいきいきと暮せる環境づくりが必要ですね。

一 最後に県民の皆様にひとこと。最後に県民の皆様にひとこと。

明日の和歌山県を考えるうえで、私がいつも訴えているのはいつの時代においても最も必要なのは「人」だということです。それも心豊かな人でなければならぬ。豊かな心と情操化、国際化、技術革新に対応できる知識を備えた人材が望まれています。人材のUターンの促進、大学教育の充実、小中高教育の活性化などを通じて人づくりを進める一方、生涯学習の推進など全世代にわたった人づくりを行っていきたいと思いま

ます。また障害福祉施策も重要な課題。障害をもつ方々の自立と社会参加を促す諸施策に力を注がれます。「地対財法」期限後の法的措置実現も明るい見通しです。きたいと思います。

豊かな心の人づくり

一 最後に教育、文化そして人づくりについてお聞かせください。

明日の和歌山県を考えるうえで、私がいつも訴えているのはいつの時代においても最も必要なのは「人」だということです。それも心豊かな人でなければならぬ。豊かな心と情操化、国際化、技術革新に対応できる知識を備えた人材が望まれています。人材のUターンの促進、大学教育の充実、小中高教育の活性化などを通じて人づくりを進める一方、生涯学習の推進など全世代にわたった人づくりを行っていきたいと思いま

ます。また、近畿大学生物理工学部の開学、美術館・博物館・図書館の建設など教育・文化の拡大につくりも着々と進んでいます。

くわしくは応募先へ

人福社推進の目標を定めたもので、プランに基づき在宅福祉、施設福祉、保健医療、生きがい問題を進めていきます。

同和問題の早期解決も重要です。「地対財法」期限後の法的措置実現も明るい見通しです。一日も早い解決に全力を注がなければなりません。

おしらせ

県庁・県教育庁は
〒640
和歌山市小松原通1-1
(0734)32-4111

要約筆記ボランティア教室
難聴者や中途失聴者のための要約筆記について、基本的な心得や実地の筆記を説明します。

対象 難聴者や中途失聴者のための要約筆記について、基本的な心得や実地の筆記を説明します。
月3日～5日・インテックス大阪(会期中に使われるシンボルマークを募集します)。

規格 B5判白地ケント紙一枚につき1作品。縦横、色彩自由。
申込締切 いずれの日も、その日までに申込ください。
申込料 無料
場所 難聴者や中途失聴者のための要約筆記について、基本的な心得や実地の筆記を説明します。
月22日(午後2時～午後4時)
日時 1月26日、2月9日、3月22日(午後2時～午後4時)

申込先 和歌山要約筆記会 (0734)32-4111

申込料 無料

県民の皆様
目の不自由な方々に利用して頂くため、
エベレスト登山にも似た南方熊楠著書「アーチャー」
が完成しました。前進あるのみです。指導と軌道
指導と支援下さいます。

ボランティアグループ
『声』の代表 山本和子
さん(59 和歌山市)



空を飛ぶことは長い間の私の夢でしたが、昨年、思いつて超軽量飛行機の免許取得にチャレンジ。幸いにも合格し、週末になると、友人とままたな遊覧飛行を楽しんでいます。離陸した瞬間にパッと世界が変わる、あの快感はたまりません。

今年は、現在自分で製作している軽量飛行機をぜひとも完成させ、「愛機でフライト」といきたいですね。



昨年、65歳で超軽量飛行機の免許を得た多田耕三さん(66 田辺市)

私はこの3年間「本当の国際化」とは何かを考え、最近その答えが分かったような気がします。以前はお父さんと日本語で挨拶してくれていた私の夫の75歳のおばあちゃん、この頃は「ワンドモニング、ナリニ」と英語でいってくれます。今年の私の抱負はこのような機会を他の人に運び、もっと作り直す意味での国際化を実現させることです。

三年間、県内の各高校で英語指導助手として活躍、昨年三月に和歌山の男性と結婚したナリニ・得津さん(25 和歌山市)

が
あ
と

明けましておめでとうございます。
昭和二十二年に誕生したこの「県民の友」も、四十五回

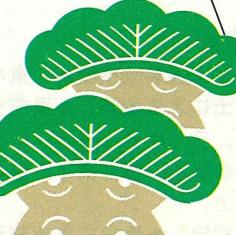
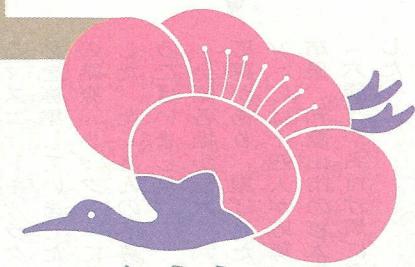
目の正月を迎えました。
人間なら、まさに今が働き盛りの年齢です。新年を迎える皆さん、本当にありがとうございます。毎月毎月家庭へこの「県民の友」を届けて頂いている皆さん、本当にありがとうございます。県民と県政を結ぶ太いパイプとなるため、読みやすく親しまれる「県民の友」づくりに一生懸命頑張りますので、今年もどうかよろしくお願いします。

どうか良き年でありますように、心からお祈りします。

新しい年の始まり。
「今年こそ」と胸を膨らませて、県民の皆さんに県内各地から年賀状が届きました。大空に、プロ野球の世界に、海外に……夢を追いかける人達です。

さてお正月、皆さんもどんな初夢をみましたか。

謹賀新年



県の観光キャンペーンガールとして活躍中の岩崎洋子さん(25 広川町)



ダイナミックな滝の魅力にとりつかれ、今までに収録した滝は230ぐらいでしょうか。昨年は仲間と一緒に那智48滝の撮影も行き、ハビや倒木に悩まされながらも完全に収録することができました。これからも今まで以上に熊野の奥深さを表現するような映像をとっていきたいですね。

今年は、各地方に伝わる祭りなどにも挑戦しようと思っています。



紀伊半島の滝をビデオで追い続けている矢浜士朗さん(54 新宮市)

地元の皆さんや主人とともに取り組んできた山村留学。あつといいや悩むこともしょっちゅう。でも「もう帰りたくないや」という子供の声を聞いて、その苦労もふつとび、また新城の自然と田舎の生活がここまで子供を変えるものかと驚くほどです。

新年を迎えて思う事は、やっぱり今お世話をさせてもらつていい子供のこと。これからも優しくてちょっと怖い「おばちゃん」でいたいと思います。



都会の小学生を対象に、昭和五十七年から山村留学に取り組んでいる浦徳子さん(69 かつらぎ町)

今春、西武ライオンズに入団する千原淳弘さん(18 由良町)



三年間の思い出多い日高高校中津分校ももうすぐ卒業、四月からはあこがれのプロ野球選手です。西武ライオンズには先輩の垣内さんもいるので、色々と教えてもらおうと思っています。プロは実力だけが頼りの厳しい世界。得意球のスライダーをさらにみがき、現在135キロの直球を140キロを超すようになります。そのためにも、今年はランニング重心に下半身をじっくり鍛えようと思っています。目標は渡辺久信さんです。



昨年末、二年間の青年海外協力隊活動に出発した鶴井伸幸さん(28 粉河町)



今月10日から青年海外協力隊員として、ケニアへ行きます。向こうでは、マリンティアという街で、現地の中学生に理科や数学を教えることになります。青年海外協力隊員には、発展途上国のために何か役立たないかと思いまして、応募しました。

ケニアでの教え子の中から、理科や数学を好きな生徒が「一人ごとも育てられるように」かんぱります。

